

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度～	
総合計画	大項目	02	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	02	健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	07	病院事業
	事務事業名	10	吉永病院診療事業
根拠法令・規程等		医療法 備前市国民健康保険病院条例	
担当課(室)		市立吉永病院 事務部	
職・氏名		医事係長 繁光麻友美	
電話		0869-84-2120	
このシート作成に要した時間		5.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	出資者である市民
目的(何のために)	安全で質の高い医療サービスを提供し、親しまれ、必要とされる病院となる
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	情報の収集につとめ、研修への参加等を通して、知識や技術を向上させ、患者さんの立場に立て職務にあたる

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
収納事業/未収金	未収金の回収業務		
診療事業/入院	入院による診療サービスの提供		
診療事業/外来	外来による診療サービスの提供		
目的を達成するための実施した事業	住民検診・企業検診による市民の健康管理の提供		
地域連携事業	病院と病院を連携し相互に紹介して患者の健康状態に沿った診療体制を提供		
相談事業	患者の入院中での不安や在宅での不安や介護事業などの相談業務		
栄養管理	入院中の患者の栄養管理や外来患者の栄養管理業務		
給食事業	入院患者への給食の提供		
その他医事	各種法令に沿った申請・届出等医療事務サービスの提供		
右欄の評価の説明			
<妥当性評価> 平成21年2月オーダリングシステムを導入し、患者待ち時間の短縮に効果がでている。市民意識調査において病院事業は重要度が高いと評価されていて、医師・看護師の確保に努め安定した医療提供が求められている。			
<効率性評価> 医療・介護・保健を包括した地域医療を実践することで、外来、入院とも患者数は高水準を維持できている。市民が信頼して利用できる医療機関となっている。			
<有効性評価> 病床利用率は救急患者のための2床を除くと常に満床状態。入院・外来部門とも成熟状態であり、収入増は期待できない。コスト削減の一方、検診部門の収入増を図り、健全経営を継続する。			

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度実績	
決算額	直接事業費		1,207,397		877,164		1,050,395	
	必要人員(人件費)	千円	92.24人	671,931	94.96人	698,710	94.97人	554,586
	事業費		1,879,328		1,575,874		1,604,981	
	国県支出金							
	受益者負担							
財源	千円							
繰入金								
その他( )								
一般財源		1,879,328		1,575,874		1,620,334		
受益者負担比率	%							
結果指標名		単位	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度実績	
結果指標	入院・外来患者延数	説明	入院	外来	入院	外来	入院	外来
	結果指標量	事業	17,441	105,507	17,488	105,747	17,352	104,491
	対前年比	%	99.7	98.2	100.3	99.2	98.8	98.8
	活動コスト	円	662,968,162	1,190,446,805	613,819,496	930,657,427	612,486,252	1,007,847,748
	単位当たりコスト	円	38,012	11,283	35,099	8,801	35,298	9,645

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
病床利用率(%)	目標値(A)	96	96	96	96%以上
	実績値(B)	95.3	95.8	95.1	到達目標値
	達成率(B/A)	99.27%	99.79%	99.06%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
安定した病院経営をするためには、収益の確保と維持が重要である。このため、経営の効率化に経営指標(収支改善、経費削減、収入確保、経営の安定性等)の中から、収入確保に係るものとして病床利用率を成果指標として選択し、目標値を設定。 病床利用率(%) = 入院延患者数 ÷ 診療日数(365日又は366日) ÷ ベッド数(50床)					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>A</b>
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>B</b>
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A-E> <b>A</b>
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

留意事項  
事業の目的やその効果の値目指標を行っている成果指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	現状を維持するとともに、特定検診・各種人間ドックなどの検診事業と、予防接種・健康教室などの拡充を図ることにより、地域住民の健康管理に貢献できるよう努める。また、診療報酬の改定による単価増による増収、施設基準に合致した新たな届出等により報酬の増加が期待できる。					

総合評価	
經常利益を 6,966,462円計上することができた。入院・外来とも昨年対比で若干の増となった。いずれも上限に近い数字であり、今後大幅な増加は期待できないと考えられる。今後は診療部門を拡充し増収を図る必要がある。また、地域医療を推進するために各医療機関、介護福祉機関の職員を対象にした研修会を今後も継続実施させ、地域連携を進める。	評価区分 <A-E> <b>B</b>

平成23年度の方針性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	経費削減とともに、収入増加・確保対策等に取り組み、安心・安全な医療が提供でき、経営の安定を目指す。					